

# にっせい農事にゆーす

(第471回)

日星コーポレーション株式会社

アグロ部 (054-263-2860)

病虫害防除所の3月予報によると、たまねぎで灰色腐敗病がやや多、いちごでうどんこ病、東部・中遠地域でハダニ類が多、アザミウマ類がやや多、の情報が出ています。また近年、水田で発生が増加している特定外来生物であるヒユ科多年草雑草のナガエツルノゲイトウの技術情報が出ています。茶やトマトでは平年を上回るような多発生となる病虫害はありません。

東海地方の3か月気象予報によると、向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年より高い予想です。3月は数日の周期で天候が変わり、平年と同様晴れの日が多く、平均気温は平年並または高い予想です。降水量は平年より少ない予想です。3月は越冬していた病虫害が気温の急激な上昇とともに一斉に発生してくることが懸念されます。発生の予防に努めるとともに、発生を確認したら早めに防除をしましょう。

今月の技術情報は令和7年の農業気象と病虫害の発生状況を掲載しました。令和7年は前年同様年間を通して気温は平年より高く、温暖化がますます進んでいると感じられた。特に6~9月は平均気温が平年より2℃近く高い状態が続いた。一方、年間降水量は平年の8割、前年の5割程度と少なかった。特に冬場の1,2,11月は平年の50%以下と少なかった。

病虫害の発生は、水稲では斑点米カメムシ類の発生が多かったが、いもち病、紋枯病等病害の発生は平年並であった。茶では一番茶前からカンザワハダニの発生が多く、夏場はチャノキイロアザミウマの発生が多かった。病害では輪斑病が二~三番茶期にかけ発生が多かったが、その他の病害は平年並みの発生であった。温州みかんではミカンハダニが7~10月まで長期間、平年より多い傾向が続いた。また6~9月にかけて黒点病、かいよう病の発生が多かったが、前年に発生の多かった果樹カメムシ類は多発生することはなかった。

令和8年2月24日

気象予報 '26-3

## 東海地方3か月気象予報

名古屋地方气象台

この期間(3~5月)の平均気温は、高い確率60%です。

月別の予報

3月: 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率とともに40%です。

4月: 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率60%です。

5月: 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。

予報の 区分	気温			降水量		
	低い	平年並	高い	少ない	平年並	多い
3~5月	10%	30%	60%	40%	30%	30%
3月	20%	40%	40%	40%	30%	30%
4月	10%	30%	60%	30%	40%	30%
5月	20%	30%	50%	30%	40%	30%

# 病害虫発生予察情報(3月予報)

令和 8年 2月 25日  
静岡県病害虫防除所長

## 1 予報概況

作物名	病害虫名	予報 (3月の県平均平年値)	予報の根拠
茶	赤焼病	発生量:少 (発病葉数0.06枚/1.25㎡)	2月上中旬発生量:少 (－) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	カンザワハダニ	発生量:やや少 (樹冠面寄生葉率1.1%)	2月上中旬発生量:少 (－) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
トマト	灰色かび病	発生量:やや少 (発病株率10.1%)	2月中旬発生量:少 (－) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	葉かび病・ すすかび病	発生量:やや少 (発病株率5.8%)	2月中旬発生量:やや少 (－) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	黄化葉巻病 (タバコナジラミ)	発生量:やや少 (発病株率0.1%)	2月中旬発生量:少 (－) コナジラミ類発生量:やや少 (－) 気温:高い (+)
	コナジラミ類	発生量:並 (寄生株率10.3%)	2月中旬発生量:やや少 (－) 気温:高い (+)
たまねぎ	腐敗病	発生量:やや少 (発病株率5.1%)	2月中旬発生量:少(発生なし) (－) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	灰色腐敗病	発生量:やや多 (平年発生なし)	2月中旬発生量:並(発生なし) (±) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	ネギアザミウマ	発生量:並 (寄生株率34.8%)	2月中旬発生量:やや少 (－) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
いちご	灰色かび病	発生量:やや少 (発病株率2.2%)	2月中旬発生量:少 (－) 気象予報:気温:高い (+) 降水量:ほぼ平年並 (±)
	うどんこ病	発生量:多 (発病株率0.7%)	2月中旬発生量:多 (+) 気象予報:気温:高い (+)
	炭疽病	発生量:やや少 (発病株率1.3%)	2月中旬発生量:少 (－) 気象予報:気温:高い (+)
	アザミウマ類	発生量:やや多 (寄生株率 11.1%)	2月中旬発生量:やや少 (－) 気象予報:気温:高い (+)
	アブラムシ類	発生量:やや少 (寄生株率2.3%)	2月中旬発生量:少 (－) 気象予報:気温:高い (+)
	ハダニ類	発生量:地域により差がある 東部・中遠:多 中部:並 (寄生株率 12.9%)	2月中旬発生量:地域により差がある 東部:やや多 (+) 中部:少 (－) 中遠:多 (+) 病害虫防除員報告:やや多～多(+) 気象予報:気温:高い (+)

令和7年度 技術情報第7号  
水稲 ナガエツルノゲイトウ

令和8年2月25日  
静岡県病虫害防除所長

近年、水田において、特定外来生物であるヒユ科多年生雑草のナガエツルノゲイトウの発生が増加しています。

水田で本種が繁殖すると、競合による収量の減少や農業機械の作業性の低下などがもたらされます。

切断された茎や根で増殖するため、刈払い機等の機械除草ではなく、除草剤での防除の徹底をお願いします。

## 1 発生状況

- (1) 2010年に、特定外来植物生息分布調査において、本県の水系での発生が確認された。
- (2) 2021年には、県東部地域の水田で、2023年には中部地域の水田で発生が確認された。
- (3) 2025年には、東部地域、中部地域で発生が拡大している。
- (4) 2026年には、更なる発生の拡大が予想されるため注意する。

## 2 本種の生態

- (1) 同種は南米原産のヒユ科の多年生雑草である。
- (2) 開花期は4~10月だが、国内で発生している系統は種子をつけず、節を含む切断茎や根の断片からの栄養繁殖により増殖する。
- (3) 茎の再生力が強く、1cm以上の断片から容易に発根して増殖する。
- (4) 茎はちぎれやすく、水に浮き、断片が用水や河川を介して運ばれるため拡散しやすい。また、水陸両生で、水田だけでなく畦畔や畑地にも侵入する。
- (5) 気温が4℃以下で生育が止まり、霜が数回あると地上部は枯れるが、地中深くの根は、氷点下以下の冬の寒さにも耐え越冬する。

## 3 水田における防除対策

- (1) 同種の発生が確認されている水田畦畔では、刈払い（機械除草）による茎断片の拡散を防止するため、除草剤中心の管理を行う（表1）。
- (2) 発生が確認された水田（移植水稲の本田防除）では、生育に応じて有効成分にピラクロニルまたはフロルピラウキシフェンベンジルを含む除草剤で防除する（表2）。
- (3) イネ収穫後の水田（水田刈跡）におけるナガエツルノゲイトウ再生個体に対しては、非選択性茎葉処理型除草剤（ラウンドアップマックスロードなど）で防

除する。

- (4) 除草剤中心の管理においては、除草剤の使用前にラベルの表示（登録内容や使用上の注意事項など）を確認する。特に成分ごとの総使用回数に注意する。
- (5) 農機具に付着した本種を含む土等から拡がる恐れがあるため、同種の発生していないほ場から作業を開始する。また、同種の発生しているほ場での作業後は、他のほ場へ移動する前に農機具（ロータリー等）の土（草）をしっかりと落とす。
- (6) 特徴・見分け方等は、添付の農研機構「豊かな農地を守るためにナガエツルノゲイトウの侵入・定着を防ぎましょう」を参照する。また、農研機構「[水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル](#)」に防除体系等が紹介されているため参考とする。

[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/files/suiden\\_nagaetsurunogeito\\_bojo\\_manual\\_a.pdf](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/suiden_nagaetsurunogeito_bojo_manual_a.pdf)

#### 4 本種への対応にかかる注意点

- (1) 同種は外来生物法の特定外来生物に指定されており、拡散を防ぐため、栽培、保管、運搬、野外への放出・植栽が禁止されている。また、駆除を実施する際に手続き等が必要になる場合があるため注意が必要である。

※農林水産省、環境省、農業・食品産業技術総合研究機構「[ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル](#)」

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo\\_hozen/attach/pdf/nagae-33.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/nagae-33.pdf)

#### 5 その他

- (1) 薬剤の選択に際しては総使用回数に注意する。
- (2) 水田への被害は確認されていないものの、特定外来生物に指定されている「オオバナミズキンバイ」が西部地域の水系で確認されており、今後、注意が必要である。

※農林水産省「[農業水利施設に被害を及ぼす恐れのある外来種（オオバナミズキンバイ）](#)」

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo\\_hozen/attach/pdf/gairai-9.pdf](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/kankyo_hozen/attach/pdf/gairai-9.pdf)

- (3) 不明な点については、病虫害防除所、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表1 水田畦畔におけるナガエツルノゲイトウに対する主な除草剤

作物名	農薬名	農薬の種類	使用時期	本剤の使用回数
水田作物 (水田畦畔)	ラウンドアップ マックスロード	グリホサートカリウム 塩液剤	収穫前日まで (雑草生育期)	3回以内
水田作物 (水田畦畔)	ザクサ液剤	グリホシネート P ナト リウム塩液剤	収穫7日前まで (雑草生育期)	3回以内

表2 水田におけるナガエツルノゲイトウに対する主な除草剤

作物名	農薬名	農薬の種類	使用時期	本剤の使用回数
移植水稻	エンペラー 1キロ粒剤	ピラクロニル・ピリミノバツ クメチル・フェンキノトリオ ン粒剤	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 但 し、収穫 60 日前まで	1回
移植水稻	テッシン 1 キロ粒剤	ピラクロニル・フェンキノト リオン・ベンスルフロンメチ ル粒剤	移植時 移植直後～ノビエ2.5葉期 但 し、移植後 30 日まで	1回
移植水稻	サキガケ楽 粒	イプフェンカルバゾン・テフ リルトリオン・フロルピラウ キシフェンベンジル粒剤	移植直後～ノビエ3葉期 但 し、移植後 30 日まで	1回
移植水稻	ストレング ス 1 キロ粒 剤	テフリルトリオン・トリアフ ァモン・フロルピラウキシフ ェンベンジル粒剤	移植後 5 日～ノビエ4葉期 但し、収穫 30 日前まで	2回以内
移植水稻	カチドキ乙 1キロ粒剤	プロピリスルフロン・フロ ルピラウキシフェンベン ジル粒剤	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 但 し、移植後 30 日まで	1回
移植水稻	ロイヤント 乳剤	フロルピラウキシフェン ベンジル乳剤	移植後 20 日～ノビエ5葉期 但し、収穫 45 日前まで	2回以内



図1 水路での繁茂状況



図2 本田での繁茂状況

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>



# 豊かな農地を守るために ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物※）の 侵入・定着を防ぎましょう

※外来生物法で指定された、生態系や農林水産業に被害を及ぼす海外起源の生物。栽培・移動等は許可が必要。

## ナガエツルノゲイトウ（ヒユ科）

学名：*Alternanthera philoxeroides* 長柄蔓野鶏頭

- 南米原産の多年草
- 河川や池で大群落を作り、水面をマット状に覆う
- 茎がちぎれやすく、節や根から活発に再生して拡散しやすい
- 各地で農業被害をもたらしている

刈払いによって繁茂



### 農業被害の例



水路を閉塞し  
取水・排水を阻害

水利施設



水田

農地に定着すると  
減収の要因に



畦畔

### ナガエツルノゲイトウの特徴・見分け方

☑ 小さな断片から増殖



茎断片から萌芽



根断片から萌芽

☑ 夏から秋に開花

☑ 小さな白い花が球状に集まる

☑ 細長い花柄がある

☑ 花柄は葉の脇から伸びる



球状の花  
直径1~1.5cm

1~4cmほどの  
長い花柄

葉のつけねから伸びる

☑ 葉は対生



節から一対の葉

☑ 葉の先はやや尖る

☑ 先端に近い部分が（ストロー状）

最も幅広い



☑ 茎はなめらかで  
ざらつかない



節に短い毛

### 間違えやすい植物

ツルノゲイトウ



• 葉は中央付近が最も幅広い  
• 球状の花は葉のつけねに密着

タカサブロウ類



• 茎に細かい毛  
• 葉の縁はぎざぎざ  
• 花は平たい

スベリヒユ



• 葉の先は丸い  
• 葉は互生（交互につく）  
• 花は黄色

## ～ナガエツルノゲイトウの水田での防除～

水稲移植後にピラクロニル含有剤とフロルピラウキシフェンベンジル含有剤を体系で処理することで、ナガエツルノゲイトウがまん延する水田で効果的に防除ができます。

### 本田内での有効な除草剤の散布事例

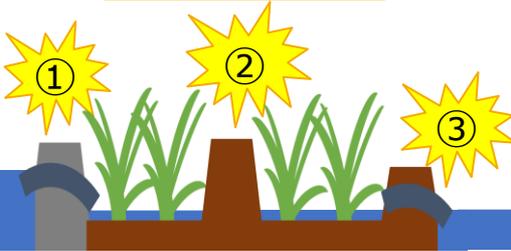
時期	ナガエツルノゲイトウ	除草剤散布体系 1	除草剤散布体系 2	作業上の注意
代かき*	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">再生始</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">草丈が2cm以下</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">生育期</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">草丈が35cm以下</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ピラクロン1キロ粒剤 (ピラクロニル粒剤)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ウィードコア1キロ粒剤 (フロルピラウキシフェンベンジル・ペノキスラム・ベンゾビシクロン粒剤)</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">バッチリLX1キロ粒剤 (イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル・プロモブチド粒剤)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ロイヤント乳剤 (フロルピラウキシフェンベンジル乳剤)</div>	<p>丁寧な代かきで切断茎や根を小さくして完全に埋め込む</p> <p>未侵入の圃場での作業を先に行う。侵入農地での作業後は泥落としなどの農機の洗浄を徹底する</p> <p>* 落水時には水尻にザルを設置</p>
田植え				
田植え後20日				
田植え後40日				
中干し*				

ナガエツルノゲイトウに防除効果のある除草剤の有効成分を赤字で示しました。

## ～ナガエツルノゲイトウの侵入防止策～

ナガエツルノゲイトウの侵入が報告されている地域（環境省ウェブサイトなどで紹介）では、農地に侵入・定着させないよう、水利施設や水路、給水栓まわりなどをこまめに点検し早期発見に努めます。

### 侵入しやすい場所



#### ① 給水栓

水と一緒に流入

給水栓口にネット袋等を取りつけ、ナガエツルノゲイトウ断片の侵入を防止



給水栓付近から定着



給水栓への収穫ネット取り付け例

回収したナガエツルノゲイトウは水気を切り、ゴミ袋に入れ固く口を結び、焼却処分してください（詳しくは地方環境事務所等にお問い合わせください）。

#### ② 畦畔 刈払いで断片が拡散



#### 除草剤中心の管理

茎葉処理型除草剤の効果的な散布時期は9月以降から霜が降りるまでの期間です。

↑ 刈払い管理でナガエツルノゲイトウが繁茂した畦畔

#### ③ 農業用水路・貯水池

定着して次の拡散源に

遮光率100%の耐水シートを敷設



シート装着例

↑ 耐久性のあるシートを選んでください。



農水省ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアルはこちら



お問い合わせはこちら

外来種駆除活動には農林水産省の多面的機能支払交付金などが利用できます。市町村の担当窓口にご相談ください。農林水産省ウェブサイトで「ナガエツルノゲイトウ駆除マニュアル」が公開されています。併せて参考にしてください。

(問い合わせ) 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 お問い合わせページ (右QRコードより)

## 令和7年の農業気象と病害虫の発生状況

### 1. 気象の経過（静岡市駿河区曲金）

- 1) 気温：日平均気温、日最高気温、日最低気温のいずれも2月を除いたすべての月で、平年（過去30年）を上回り、一年を通して気温は高かった。中でも6～9月は、日平均気温、日最高気温、日最低気温のいずれも平年に比べ2℃近く高かった。
- 2) 降水量：年間降水量は1937mmで平年比83%、前年比52%であった。5、9月を除いた月はいずれも平年より少なく、特に冬場の1,2,11月は平年の50%以下とほとんど雨が降らなかった。年間の降水日数は203日で、3～5、9月が14日以上降水日であったが、年間と通すとほぼ平年並であった。
- 3) 日照時間：年間日照時間は2352時間で平年比109%であった。3、5、10月が平年に比べ日照時間が少なかった。

これらのデータから、令和7年は前年に引き続き、年間を通して気温が平年より高く、温暖化が進んでいる傾向がうかがわれた。特に夏6～9月は気温が高い状態が続いた。一方、年間降水量は平年に比べ80%程度と少なく、特に1,2,11,12月は平年に比べ降水量が35程度とたいへん少なかった。

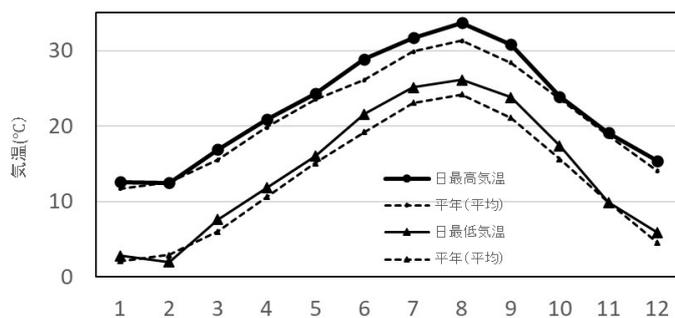


図 2025年日最高・最低気温(静岡)

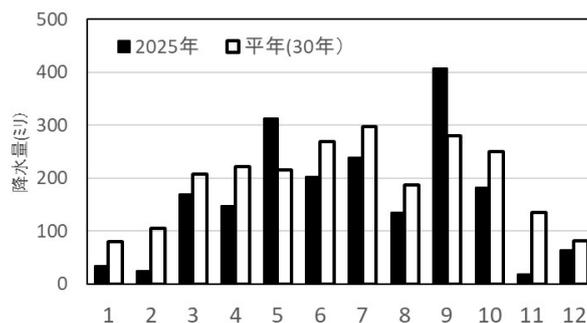


図 2025年月別降水量(静岡)

### 2. 病害虫の発生状況

#### 1) 新発生病害虫（特殊報）

- ・ワタミヒゲナガゾウムシ 温州みかん (令和7年7月5日発表)

#### 2) 注意報

- ・斑点米カメムシ類 水稲 (令和7年7月31日発表)
- ・チャノキイロアザミウマ かんきつ (令和7年7月31日発表)

#### 3) 技術情報

- ・カンザワハダニ 茶 (令和7年6月2日発表)
- ・斑点米カメムシ類 水稲 (令和7年7月1日発表)
- ・チュウゴクアミガサハゴロモ 茶、果樹 (令和7年7月29日発表)
- ・カイガアラムシ類 かんきつ (令和7年9月25日発表)
- ・果樹カメムシ類 かんきつ、落葉果樹 (令和7年8月29日発表)
- ・うどんこ病 いちご (令和7年12月23日発表)
- ・アザミウマ類 いちご (令和7年12月23日発表)

4) 2025 年（令和 7 年）の病害虫の発生状況

水稲では、ごま葉枯病と斑点米カメムシ類が梅雨期から夏場にかけて（6～8 月）多かったが、いもち病や紋枯病の発生は平年並であった。斑点米カメムシ類は地域によっては田植え後早い時期（5 月頃）から周辺雑草で見られたところもあり、7 月以降の畦畔での発生程度も地域により異なっていた。一方、セジロウンカ、トビイロウンカなど夏場以降に発生が増加するウンカ類は近年発生の増加が見られない。またスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）は発生地域が広がってきている。前年に発生の多かったコブノメイガ、イネツトムシは平年に比べ発生が少なかつた。

茶では、一番茶前にカンザワハダニの発生が多かったが、二番茶以降は平年並みに落ち着いた。チャノキイロアザミウマは 8 月に発生が増加しただけで、チャノミドリヒメヨコバイは 1 年を通して平年並みの発生だった。一方、病害は輪斑病が二～三番茶期にかけ発生が多かったが、その他の病害は平年並みの発生であった。クワシロカイガラムシの発生は多くなかつた。温州みかんではミカンハダニが 7～10 月まで長期にわたり発生が多かった。6 月から 9 月にかけて黒点病、かいよう病の発生が多かった。果樹カメムシ類は前年ほど多発生することはなかつた。

\* 令和7年(2025 年) 発生が平年に比べ多かった病害虫

2026.02

作物名	病害虫	月 (●:多発生 △:やや多発生 *印は一部で多発生又はやや多発生)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稲	葉いもち						▲		▲				
	ごま葉枯病						●	●					
	斑点米カメムシ類					●		●	●				
茶	輪斑病						●	●					
	チャハマキ			●	▲								
	チャノコカクモンハマキ			●									
	チャノキイロアザミウマ								●				
	ヨモギエダシヤク							▲	●				
	カンザワハダニ				▲*	▲					●		
	クワシロカイガラムシ							▲					
温州みかん	黒点病							●	●	●			
	かいよう病			●			●	●	●	●			
	そうか病		●			▲							
	チャノキイロアザミウマ							●	●				
	ミカンハダニ			▲*				▲*	▲*	●	▲*		
	ハナアザミウマ類										●		
ヤノネカイガラムシ													
中晩柑類	かいよう病				●		●	●	●	●			
ナシ	黒星病					●*							

\*病害虫防除所の発表する予察情報をもとに作成した

トマト（施設）では、栽培期間中（9～翌3月）発生の多かった病害虫はなかった。イチゴではアブラムシ類、ハダニ類の発生が多く、ハダニ類は長期にわたって多発生の状況が続いた。病害では、炭疽病、うどんこ病の発生が多い地域があった。露地野菜では、夏から秋にかけてハスモンヨトウやオオタバコガなどのチョウ目害虫の発生が目立った。一方、病害はしろねぎで黒斑・葉枯病の発生が多かった程度で、特に発生が増加した病害は見られなかった。（作物ごとの多発生病害虫が次の一覧表を参照）。

\* 令和7年（2025年）発生が平年に比べ多かった病害虫（続き）

作物名	病害虫	月（●:多発生 △:やや多発生 *印は一部で多発生又はやや多発生）											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
トマト	コナジラミ類										▲		
イチゴ	炭疽病	▲		▲									
	うどんこ病	▲											
	アブラムシ類	▲*	▲	▲*					●				
	アザミウマ類										▲*		
	ハダニ類	●	●	●					●	●	●		
	ハスモンヨトウ								●				
	コナジラミ類										▲		
カンショ	ナカジロシタバ						●	●					
	イモキバガ							●					
	エビガラスズメ						●						
しろねぎ	シロイチモジヨトウ								▲		●		
	黒斑・葉枯病								▲	●	●		
	ネギアザミウマ								●	●	●		
ダイコン	アブラムシ類									●			
キャベツ	シロイチモジヨトウ									●			
作物全般	ハスモンヨトウ							▲		▲			
	オオタバコガ							▲	▲		●		

\* 病害虫防除所の発表する予察情報をもとに作成した

## 今月の防除(令和8年3月)

作物	時期	対象病害虫	使用薬剤	使用法	使用基準	備考
チャ	上～下 (萌芽 前)	赤焼病・もち病	フジドーLフロアブル又は クプロシールド	500倍 1,000倍	14日― 摘採前日―	赤焼病は幼木園で出やすい。気孔感染 もするので葉裏に薬液を十分散布する。 ダニゲッターはチャノガサビダニにも 有効である。低密度時から防除する。
		カンザワハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	7日-1	
カンキツ (中晩 柑)	上～下	カイガラムシ類及び ミカンハダニ	ハーベストオイル	60倍	―――	散布むらや散布直後の降雨は効果が 減退する。3月に収穫する品種に散布 する時は収穫後散布とする。
	下	かいよう病	コサイド3000 又は フジドーLフロアブル	1,000倍 500倍	発芽前― ―――	オイルとの近接散布は効果が減退 するので1週間程度間隔を置く。
イチゴ	上～下	灰色かび病 うどんこ病 ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類 (ミカン、ヒラスアザミウマ)	セイビアーフロアブル20 パレード20フロアブル スターマイトフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 マッチ乳剤	1,000倍 2,000倍 2,000倍 2,000倍 1,000倍	前日-3 前日-3 前日-2 前日-2 前日-4	カネマイトフロアブル1000倍(前日-1)も可 ベストガード水溶剤2000倍(前日-3)も可 スピノエース顆粒水和剤5000倍 (前日-2)も可
トマト	上～下	灰色かび病 斑点病・輪紋病 葉かび病 ハモグリバエ類 アブラムシ類及び コナジラミ類(黄化 葉巻病)	アミスター20フロアブル ロブラール水和剤 ダコニール1000 ディアナSC ウララDF 又は コルト顆粒水和剤	2,000倍 1,000倍 1,000倍 2,500倍 2,000倍 4,000倍	前日-4 前日-3 前日-4 前日-2 前日-3 前日-3	ジャストミート顆粒水和剤2000倍も可。 ダコニールはすすかび病にも有効。 プレバソンフロアブル1000倍(前日-3)も可。
レタス	上～下	腐敗病 灰色かび病 及び 菌核病	バリダシン液剤5 アフエットフロアブル スミレックス水和剤	800倍 2,000倍 1,000倍	前日-3 前日-3 7日-5	
タマネギ	上～下	腐敗病 灰色腐敗病 ネギアザミウマ	バリダシン液剤5 オンリーワンフロアブル コルト顆粒水和剤	500倍 1,000倍 2,000倍	3日-5 前日-3 前日-3	アフエットフロアブル2000倍(前日-4)も 可。 ディアナSC2500倍(前日-2)も可。

\*使用前には、ラベルをよく読み、登録内容に沿って使用してください。